

日本食産業を視察

ASEANから60人参加

タイ・カセサート大学が参加した。学とASEAN食産業人材育成協会(afh)が主催する「ASEAN諸国リユニオン(FV)に関する日本食産業の視察ツアーが7月と9月の2回にわたって開催された。参加者は10カ国から60人、7月3～9日のツアーにはASEANから、カンボジア、シンガポール、タイ、ラオス、ベトナムが、9月4～10日にはインドネシア、フィリピン、ブルネイ、マレーシア、ミャンマーが参加した。

同ツアーの参加者は、農林水産省が実施する「ASEAN統合基金(JAIF)を活用して行われ、日本へ招聘することによってASEAN大学でのさらなる人材育成を目指す。ASEAN最終日は参加者が、日本政府や訪問企業関係者に日本の新たな学びを報告、国際的な産学官連携の方向性、食産業における日本、ASEANのさらなる連携の可能性を示した。(阿久津裕史)



竹岡醤油で醤油しほりを体験



吉野家東京工場での食肉加工を視察

新技術・品質管理など学ぶ



9月4日から行われたツアーでは、食関連企業を訪問。参加者は、最新の研究施設や新技術、製品管理や品質管理などを中心に視察し、各企業と意見交換を行った。

訪問した企業は、タキイ種苗、パナ、東京中央卸売市場大田市場、竹岡醤油、不二製油グループ本社、味の素社、国分グループ本社、イオシリーテ、吉野家ホールディングス(順不同)以上、関東・関西を含む9社。各企業は、種苗、近代農業・都市農業、卸売市場、伝統的な加工食品、加工食品、流通、小売、外食産業とFVCの各段階で日本を代表する企業。

一方、参加者はASEAN各国を代表する農業食品系大学である、インドネシア・ポゴール農科大学、ブルネイ・イタラサム大学、フィリピン・ピサヤス州立大学、マレーシア・ブトラ大学、ミャンマー・イェン農科大学の5大学と各国政府関係者からなる30人が参加した。

不二製油グループ本社 阪南事業所で清水社長と意見交換

自国FVC構築に生かす 参加学生による報告会開催



9月9日に明治記念会館で、ASEAN5カ国の学生による日本食産業の視察・見学の学習成果報告会が、同会館のホールで開催された。報告会には、ASEAN5カ国の学生が、自国での食産業の現状や課題、自国でのFVC構築の取り組みなどについて報告を行った。

報告会には、ASEAN5カ国の学生が、自国での食産業の現状や課題、自国でのFVC構築の取り組みなどについて報告を行った。

本日は在席の皆さまが、日ごろから食産業分野の人材育成およびフードバリエーションの推進に多大な貢献をされていることに対して、敬意を表します。

外務省南アジア部 知見や技術を学ぶ、この機会にASEAN諸国に訪問され、また、和食を広められることは、まさに交流と協力一層強化の重要な一環として、ASEAN統合基金(JAIF)の目的に合致します。

丸山雅章審議官

農林水産省 食料産業局 丸山雅章審議官

「理解の深化つなげる」

ASEAN域内のヒト・モノ・カネの動きが自由化することで、ある「ASEAN諸国」の大学と連携した人材育成事業では、日本がリードする。経済発展が期待されるASEAN域内は、日本にとって重要な市場である。ASEAN域内での人材育成は、今後のASEAN域内での経済発展に大きく貢献する。ASEAN域内での人材育成は、今後のASEAN域内での経済発展に大きく貢献する。



Sharing the JAPANESE FOOD to the world. 日本の食産業を世界へ

ニチレイフーズ 農林中央金庫 不二製油 雪印メグミルク YOSHINOYA HOLDINGS AJINOMOTO AEON 日本食糧新聞社